

令和8年度 部局経営目標

年度	令和8年度	作成日	令和8年4月1日
部局名	湯原振興局	部局長名	佐山 宣夫
(1) 部局の方向性 (テーマ)			
<p>・人口減少対策と関係人口の創出 空き家や空き店舗の有効活用により、移住・定住者を増やす。湯原管内の人口増の要素となる外国籍の方が住みやすい環境づくりを目指す。また、地域資源を活用した交流イベントなどにより関係人口の創出を目指す。</p> <p>・学びと住みやすい住環境の構築 地域に開かれた湯原学園構想による特徴ある学び、多文化共生など住みやすい住環境により、生きがいと安心して暮らせる地域づくりを進める。</p> <p>・管内公共施設の適正管理 温泉配湯施設、生活インフラ施設の適正管理を図り、安全安心のまちづくりを進める。</p>			
(2) 事業成果目標 (重点事業)			指標名及び目標値
<p>●人口減少抑制対策 1-①、3-②、4-①地域振興事業 (湯原) ・令和9年のほんざき生息地指定100年に向け、フォーラムの開催等を計画。旅館組合・観光協会・商工会等の関係者とも連携を深めながら内外に広く発信していく。 ・中世の歴史的史跡や棚田景観などの地域資源を観光・交流定住につなげるため、取り組みへ関わる人材を増やし、持続可能な集落形成を目指す。空き家を活用した「体験型プログラム」等を実施し、都市部の人との交流を図る。 ・二川みらいづくりセンターを活用したイベント等の開催により観光・交流定住へつなげ、住民が地域を支える活動を行い、持続可能な地域づくりを目指す。 ・山中一揆勃発300年を迎え、歴史講座や野外演劇などを実施及び集大成として300周年記念イベントを開催し、市内外との交流を行いながら、次世代に継承していく。</p>			指標: イベント等開催回数 目標値: 12回 (令和7年度実績値: 8回)
<p>●人口減少抑制対策 1-①移住定住策の継続支援 お試し住宅や空き家の利用促進を図りながら、職場体験など「体験型プログラム」等を実施し、都市部の人との交流を図る。</p>			指標: 利用件数 目標値: 2回以上 (令和7年度実績値: 新規事業につき実績なし)
<p>●こどもまんなか関連 2-①こどもはぐくみ応援事業 (公共施設を活用した居場所の整備) ・湯原ふれあいセンター内の空きスペースを活用し、季節や天候を問わず快適に過ごせる場所を設置する。</p>			指標: 居場所の整備数 目標値: 1か所以上 (令和7年度実績値: 新規事業につき実績なし)
<p>こどもまんなか関連 3-①湯原のこどもたちの未来について 子どもたちにとってより良い湯原小・中学校の教育環境の発展に向けて、地域を巻き込んだ議論の場づくりを支援する。</p>			指標: 議論の場づくり 目標値: 3回以上 (令和7年度実績値: 新規事業につき実績なし)

1-①、3-②、4-①地域振興事業（湯原） ・令和9年のはんざき生息地指定100年に向け、フォーラムの開催等を計画。旅館組合・観光協会・商工会等の関係者とも連携を深めながら内外に広く発信していく。 ・中世の歴史的史跡や棚田景観などの地域資源を観光・交流定住につなげるため、取り組みへ関わる人材を増やし、持続可能な集落形成を目指す。空き家を活用した「体験型プログラム」等を実施し、都市部の人との交流を図る。 ・二川みらいづくりセンターを活用したイベント等の開催により観光・交流定住へつなげ、住民が地域を支える活動を行い、持続可能な地域づくりを目指す。 ・山中一揆決起300年を迎え、歴史講座や野外演劇などを実施及び集大成として300周年記念イベントを開催し、市内外との交流を行いながら、次世代に継承していく。	指標:イベント等開催回数
	目標値:12回
	(令和7年度実績値:8回)
3-④健康づくりのための実践活動支援 糖尿病予防や健康寿命の延伸を目的として、定期的に運動する機会を提供し、併せて地域が主体で継続的に取り組めるよう支援していきます。 ① 第8期まんぼジム ② 貯筋体操 ③ ユニバーサルスポーツ教室 ④ 愛育委員・食育推進ボランティアが関わる健康体操 ⑤ 住民が主体的に取り組む介護予防のための「集いの場」	指標:参加人数
	目標値:600人
	(令和7年度実績値:607人)